

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 乳癌原発巣と転移巣におけるゲノムプロファイルの比較検討

Comparative study of genomic profiles in primary and metastatic breast cancer

・目的： 乳癌原発巣と遠隔転移巣におけるゲノムプロファイルの比較検討を行い、乳癌の遠隔転移を予測するバイオマーカーや治療標的となる遺伝子異常の同定とすることを目的とします。

・研究期間： 承認日 ~ 2024年 12月31日

・研究対象： 2010年4月1日 ~ 2022年8月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

試料： 乳癌根治切除が施行され薬物療法後に遠隔転移を来した患者さんのうち、当院にて転移腫瘍の手術を行った患者さんの生検もしくは手術検体

情報：この研究では、遺伝子解析結果に加えて、初発・転移年齢、閉経状況、PS (performance status)、既往症、合併症、家族歴、病理学的因子（TNM分類、組織型、腫瘍径、リンパ節転移状況（節外浸潤・微小転移の有無）・個数組織学的異型度、脈管侵襲、およびER, PgR, HER2, Ki67, PD-L1によるサブタイプ分類）、放射線治療の有無、術後抗腫瘍薬投与の有無・種類・順序、併用薬、腫瘍学的転帰を、匿名化した状態で調査を行い解析します。

利用する者の範囲

研究責任者

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 教授 大崎 昭彦

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

研究責任者

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 教授 大崎 昭彦